

治療・処置時と投薬・レセプト記載の注意事項

★治療・処置時の注意事項

- ・予防投与には一定の効果があると考えますが、完全に予防できる訳ではありません。
- ・切削バーやファイル類も、滅菌されたものを使用して下さい。
- ・歯周組織炎(P、G)を有する場合は、特に注意が必要です。
- ・根管処置が長く続くような場合は、抜歯が適応です。
- ・この基準は一つの目安(異なった見解もあります)で、今後変更する場合があります。

★投薬・レセプト記載の注意事項

- ・内服薬による第一選択(標準予防法)は、アモキシシリンです。
- ・ペニシリンアレルギーのある(疑う)場合の内服薬は、クリンダマイシン、
アジスロマイシン、クラリスロマイシンです。
- ・投薬量は、小児か成人かで、若干異なります。図1で確認して下さい。
- ・レセプトの摘要欄には「感染性心内炎の高リスク患者」等の記載が望ましいです。
- ・特にアジスロマイシンを投与した場合、「ペニシリンアレルギー」等の摘要欄記載
が望ましいです。アジスロマイシンの用法は3日間投与とされているため。